

学びいろいろ！ 社会教育

問合せ／社会教育課(中央公民館内)
大小路町14番5号
☎(22)7251 FAX(20)1331
✉ shakai@city.satsumasendai.lg.jp



▲子育てサロン
において

《参加者の感想》
子育ての悩みを聞いていただき、
心が軽くなりました。

① 子育てサロン
子育てサポーターや子育て中の
方々と情報交換しながら、楽しい時
間を過ごしましょう。
時 毎週水曜日10時～11時45分
※祝日、お盆、年末年始は休み
所 中央公民館3階和室
☎ 絵本の読み聞かせなど
※参加無料
※申し込み不要

市では、家庭教育、青少年教育、
成人教育など、さまざまな事業を実
施しています。今回は、市民の皆さ
んが気軽に参加できる事業を紹介し
ます。



▲中央公民館のスマイル
キッズスペースをご利用
ください

② スマイルキッズスペース
親子でゆっくりと楽しい時間を過
ごせる場所です。
時 9時～15時
※第3日曜日、年末年始は休み
所 中央公民館1階
※利用無料

市では、家庭教育、青少年教育、
成人教育など、さまざまな事業を実
施しています。今回は、市民の皆さ
んが気軽に参加できる事業を紹介し
ます。

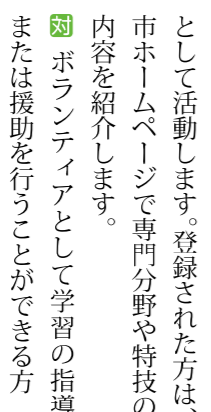


▲パソコン操作に悩
んだら、すぐ相談

④ さつませんだい学校応援団
地域の人が学校支援ボランティア
となり、学校の要望に応じた支援活
動を行っています。
☎ ボランティアとして活動できる
市民の方
登録方法 中央公民館窓口にて「学校
支援ボランティア登録カード」に必
要事項を記入の上、提出

③ まなびねっとセンター
パソコンやスマートフォン、タブ
レットの操作方法を学びます。お持
ちの端末をご持参いただくことも可
能です。
時 毎週月、火、金曜日9時～12時、
13時～16時
※祝日、年末年始は休み
所 中央公民館1階 まなびねっと
センター
※利用無料

市では、家庭教育、青少年教育、
成人教育など、さまざまな事業を実
施しています。今回は、市民の皆さ
んが気軽に参加できる事業を紹介し
ます。



《参加した
児童の感想》
米作りの
工夫と収穫
の喜びを教
えてもらい
ました。

⑤ すてきびと
専門知識や特技を生かして、市内
の団体やグループからの要請によ
り、講習会や実演会の講師、指導員
として活動します。登録された方は、
市ホームページで専門分野や特技の
内容を紹介します。
☎ ボランティアとして学習の指導
または援助を行うことができる方
登録方法 市ホームページまたは中央
公民館に備え付けの「すてきびと登
録カード」に必要事項を明記の上、
直接、郵送、ファクス、メール
登録分野 音楽、生活・趣味、体育・
スポーツ・レクリエーション、美術・
書道、語学など

活動例 読み聞かせ、昔遊びの指導、
見守り、ミシン指導補助、教科指導
補助など



▲すてきびと(生
涯学習人材パ
ンク)の募集と
登録者紹介



人の心をつなぐために

鹿児島県木育インストラクター
宮みりのりさん



「木育」とは子どもたちをはじめとする
全ての人が木材や木製品との触れ合
いを通じて木のぬくもり、香り、良
さを体感し森林や森文化を理解する活動
のこと。
今回は、その活動を市内外で伝えて
いる木育インストラクターの思いに寄
り添う。

「人のとなりに」とは…
文字通り、その人の隣にいて、思いに寄
り添うことや人柄を表す言葉「人となり」
をイメージしたコーナーで、人物や活動の
紹介だけでなく、その人の思いにスポット
を当てることを目的としています。

自然が持つ力を伝える
宮さんは活動の中で、木の働
き、山、川、海のつながりを絵
やパネルで伝えた後、おもちゃ
などで木に触れて遊んだり、製
作をしたりして子どもたちが楽
しく学べるように工夫している

「幼少期から自然に癒され、
助けられてきた」と話すのは、
市内で保育士として働く傍ら、
木育インストラクターとして活
動する宮みりのりさん。
木育インストラクターになっ
たのは新聞がきっかけだったと
いう。「新聞を読んでいたら、屋
久島について掲載されていた。
その時に知った『木育』という言
葉が、普段から仕事を通して、
子どもたちが土、水、木などの
自然に触れながら遊びを広げて
いく姿に元気をもらって来た自
分に合っていると思った。また、
自然との触れ合いの中で五感を
刺激し、豊かな感性が育つこと
にもつながると感じた」と話す。
その後、木に関する勉強や実習
の研修を受けて、令和4年に木
育インストラクターとしての活
動を開始した。

木育での活動を通して、宮さ
ん自身も元気をもらっている
という。「木のおもちゃなどで子ど
もたちが楽しそうに遊んでいた
り、親子が和やかに会話をして
いたりする様子を見ると、子育
への応援団になれていると感じ
て自分もうれしくなる」と話す。

子どもたちの年齢もさまざま
だが、成長段階に合わせてパネ
ルや木のおもちゃを手作りして
いる。その数は年々増えて20種
類以上になるとか。「木で作った
おもちゃは壊れても修理するこ
とができるので、子どもたちが
安全に、のびのびと自由に遊ん
でもらえるように試行錯誤し
ている」と話す。また、遊びで
使用する材料は木材の他、貝殻、
松ぼっくりなど自然にあるもの
を選んでいくとのこと。



子育てで悩んでいても、木や自
然に触れ合う時間が「一息つけ
る時間になっている」という声
も聞くそうだ。
自然と触れ合うきっかけに
家でできる木育や、小さい子
どもや親子でできる木育は何か
と聞くと、「自然に触れる機会
を作ること」を教えてくれた。「木
育は木に関することだけじゃな
い。散歩に行く、どんな形の雲
があるか見る、木の匂いを嗅ぐ、
星を見上げる、虫に触ってみる
など、自然に触れること自体に
意味がある。自分の活動を通し
て、少しでも自然を身近に感じ
るきっかけづくりになればうれ
しい」と話す。
今後も「木育、木に触れて遊ば
う」をモットーに普及活動を続け
ていきたいと笑顔で語ってくれ
た。